

使節一行出發

羅馬書

日本政府の使節の前  
班なる福徳で艦艇の阿  
波高四郎中将はマカア  
ア將軍の儀和の條件を  
受くべく非常費マニラ  
に飛翔した恐らく彼れ  
計りは愉快なる旅で無  
かつたやうに見えた。  
十六人の使節は伊江  
島よりマニラ迄四時間  
半の旅路に上級軍刀  
医師を随て宣ソテ居た  
が阿波中将のみは嚴格  
に軍刀を離さず終止  
麥粉で給ふされた晝食  
も煮かれた卵のみと  
食べて居た。

は彼等は54の輸送機の  
説かな座席に大いに感  
心して居た彼等は安全  
帶を堅く結ぶやう乗組  
員上り受けられ更にマ  
エウエスト娘の寄附せ  
る安全ひナケツと共に  
らル型の通り喫煙に統  
き注意がちつた。晝飯と  
きとなりテイス、半煮卵  
ビーナッツバタのサンドウ  
キチ、グレープフルーツ酢  
のアンドルキチ、豆ピックル、  
ランチ紙袋と各自に手  
へらした。

では米軍艦を空襲しつゝあるも傍らなかつた。エーテス大佐は使節の守衛及び案内役を命ぜられたが腰に拳銃を帯びて居なかつた。従事優節一行は太に食ふ快談にて陽氣であつたに反し阿波中將ラミは鷄卵を食し水を飲みこり何事も語らず悲憤につゝまれて居た。  
フランシス大。

佐勢に抗議を議会と新  
岸に立た  
印度今千九百四十三  
年飢饉のため餓死一人  
再びモンスーンのため  
食料缺乏。  
エジプト通信にて水は  
太平洋に散在する日本  
領土の島嶼は未だ降服  
の訓令を受けずと  
スペインは一ヶ月以内  
に帝政の復興を豫想  
さる。  
ビルマ地方に於て日  
軍五万木村將軍に率ひ  
うち英軍と對峙してゐる  
ユニアス上陸トマス  
議員は眞珠湾失敗事  
件の軍法會議を議会  
に要求。

日ブルカリヤ新政府に  
対し抗議して赤雲政権  
の専横に不滿  
米英下令飛行機滿州  
奉天に着しウエンライト  
中特一行を放出する。  
軍部の更迭・陸軍卿  
にバタソン次官參謀總長  
にアインゼンハーダ大將・  
新内閣總理大臣末木  
通宮殿下に謁見仰付ら  
行政方針に就き參上  
支那共產軍は蒋介石  
に六ヶ條の要求をなし  
非認せば内乱起きたると  
警告。

陸軍大佐 墓田正雄  
陸軍大佐 南義雄  
陸軍大佐 高倉守  
陸軍中尉 緒方良雄  
陸軍下尉 竹内春美  
外務省 湯川守雄  
外務省 海軍省  
海軍省 杉田教馬  
傳習園 喜連田壽一  
計画委員会は經濟的復興をめざ後立年  
ニフ送出来マス上院議員  
はエンライトメントマニフェスト  
ニラ會議に出席セーメ  
あと彦調  
ボートランド造船所  
英露船舶修繕中立シ  
昨日中止した。

主断つた。彼等は心中に  
決まり米袋も持合せて  
馬三郎直實の居る所で

空を過ぎマニラ湾に低  
下しクラク飛行基地で

て命譲せんとす。  
米軍九十五師團時士  
主東洋の占領地守備入

本同盟通信は故送す。

七  
二  
九  
六  
三  
八  
五

才才才才才才才  
七五十等一  
一、が使節に眺望を促し彼  
等は變化せら狀況を眺  
めて居た。

鎖ヒ一時間半会談す。  
支那蒋介石政権と共に  
虚政府との確執は多少

依リ露の戦争加入を  
一週間早めたと外え  
筋観測す。

米軍の原子弾使用に

日本交渉使節は

依リ零の戦争加入を  
一周間早めを止メト之

春草堂  
阿邊高四郎  
舞雪  
黃山一劍

2

卷之三

版二

産政省との協調は多少

筋觀測す。

陸軍少將天野守，一木